

平成 27年 06月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

かごしま材の家

グループの名称

かごしまハイテクウッド協会

直近採択グループ番号

04-0400-0473

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

梶川 幸夫

代表者印

代表者所属先

鹿児島県木材商業協同組合

代表者構成員番号

Ⅲ-63

代表者所在地

鹿児島県鹿児島市東開町

代表者電話番号

099-268-1366

(グループ事務局)

事務局事業者名

鹿児島県木材商業協同組合

事務局構成員番号

Ⅲ-1

事務局担当者名

石川 健二

印

事務局郵便番号

891-0115

事務局所在地

鹿児島県鹿児島市東開町10番地4

事務局電話番号

099-268-1366

事務局FAX

099-267-6894

事務局担当者E-mail

ishikawa55@hotmail.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	かごしま材の家
2. グループの名称(必須)	かごしまハイテクウッド協会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0400-0473
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	鹿児島県・沖縄県
5. 結成年(必須)	1998 年
6. グループ代表者名(必須)	梶川 幸夫
7. グループ代表者の所属先(必須)	鹿児島県木材商業協同組合
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-63
9. グループ代表者所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町
10. グループ代表者電話番号(必須)	099-268-1366
11. グループ事務局事業者名(必須)	鹿児島県木材商業協同組合
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅲ-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	石川 健二
14. グループ事務局郵便番号(必須)	891-0115
15. グループ事務局所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町10番地4
16. グループ事務局電話番号(必須)	099-268-1366
17. グループ事務局FAX番号(必須)	099-267-6894
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	ishikawa55@hotmail.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	3	
V. 設計	3	
VI. 施工	25	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	2	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	かごしま材	鹿児島県	かごしま材の証明	1	国内
	認証かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 10 戸		地域材加算合計 10 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 7 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 3 戸		
	うち申請が確実 5 戸	うち申請が確実 1 戸	地域材加算(うち申請が確実) 6 戸	
	うち申請が未確定 2 戸	うち申請が未確定 2 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 4 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 10 戸	地域材加算合計 10 戸		
	うち申請が確実 5 戸	地域材加算(うち申請が確実) 5 戸		
	うち申請が未確定 5 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 5 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 8 戸	地域材加算合計 8 戸		
	うち申請が確実 5 戸	地域材加算(うち申請が確実) 5 戸		
	うち申請が未確定 3 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 3 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 0 棟	0 m ²		
	うち申請が未確定 0 棟	0 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	長期優良住宅への取り組みが少ない工務店や受注が確実視されている工務店へ優先的に配分していく。			
--	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 0 戸	交付申請戸数 0 戸	竣工済 0 戸	竣工予定 0 戸
	木造建築物			
	採択棟数 0 棟	採択床面積 0 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かごしま材の家	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県・沖縄県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) かごしまハイテクウッド協会	(結成年) 1998年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0400-0473	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	次世代省エネ基準、長期優良住宅、ゼロエネルギー住宅	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	かごしま材を使用した木造住宅シロアリ対策をした住宅	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	主要構造材は、(柱、梁、桁、土台)の過半においてかごしま材の使用を義務付ける。羽柄材も過半は、地域材を使用する。品質の明確な県産材を現しとしふんだんに利用した木の温もりを感じる家。	◎
④①～③の背景	鹿児島県は温暖、多雨、多湿、で沖縄県は、亜熱帯に属する。また鹿児島県・沖縄県は、「台風銀座」と呼ばれるほど台風が多い。また内部に木をふんだんに使い現しが多くなりつつある。鹿児島県では、県産材を100万㎡と計画をたてている。県内の数工場では、大型化が進み供給量も増加しているので供給が安定している。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	地域型住宅の規格・仕様を制定し、設計に活用する。	○
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	グループとしてネットワークを拡大し各社の資材共有の情報を提供し共同仕入れによる値段、企画の統一をはかる。	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	定期的に理事会・委員会を開催して施工・技術・生産の検討会を開催していく鹿児島県、沖縄県で行う。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	沖縄県にも事務局支部を中心に役割として構成員の支援を行う。	◎
b.		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	グループ内で共有の仕入れ先を構築して効率のいい生産体制をつくれます。グループ内で安定した供給体制の整備の為、定期的に開催している理事会にて、行政や関係団体と連絡を取りながら情報交換・共有を行い、収集した情報は内外へ公開していく	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	グループ内で定めた施工基準に基づいた高品質な施工。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	標準見積書を作成し施主へ提出への提示、説明の義務化する。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	流通時の納品伝票、証明書により確認を行う。完了時は、住宅瑕疵保険の写しを提出を義務付ける。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かごしま材の家	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県・沖縄県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) かごしまハイテクウッド協会	(結成年) 1998年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0400-0473	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	グループ共通の維持保全計画を使用し点検方法・診断基準に応じたメンテナンスの実施と報告の義務化する。
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	メンテナンス・リフォーム実施に関する報告書の作成と提出(住まい手原本、事務所に写しの提出)
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	施工グループ内、長期優良住宅の経験メンバーを中心として、実際の施工現場での勉強会の実施設計グループを中心とした設計仕様委員会の設けと仕様説明会(1回 必要に応じて追加)
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	グループ共通の維持保全計画を使用し点検方法・診断基準におうじたメンテナンスの実施と報告の義務化
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	グループ構成員に廃業等の発生は、しなかつたか消費者からの問い合わせにより引き渡し後の指針を明確にしてその対応を行う、万一に備えた対応を構築の取り組みに項目を追加。
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し住宅の引き渡し時に(重要事項説明として説明の義務化)
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入	
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	地域型住宅は、長期優良住宅認定・設計性能評価の取得において、未経験の構成員が含まれている。その対応として、設計グループ構成員によるサポートや仕様説明会・施工・設計に関する勉強会等の計画をたて実施する事としている。
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	施工グループ内、長期優良住宅の経験メンバーを中心として、実際の施工現場での勉強会の実施(鹿児島県2回・沖縄県2回)設計グループを中心とした設計仕様委員会の設け仕様説明会(1回開催、必要に応じて追加)設計仕様委員会主催の長期優良住宅・設計性能評価研修会の実施(2回)
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	事務局を中心として、未経験構成員のサポートチームを、作り提案から設計・施工までのアドバイスが可能な体制をつくる。
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	鹿児島県建築センター協力による許容応力計算の講習会の実施(実務研修3回)施主に向けて具体的に提案できるよう住まい手像を明確にした長期優良住宅プランを作成し、仕様書や見積書内容を共有する。
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	省エネ技術講習会の未経験者全員に参加を呼び掛ける。
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	施工グループにおける省エネルギー技術講習会への事務化と職人への啓蒙の実施。
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	他のメーカーや構成員を招いて技術提供を依頼し、検証が行える構成員をマッチングさせる。
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	新しい技術を導入した事例の研修会などを、構成員として実施する。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かごしま材の家	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県・沖縄県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) かごしまハイテクウッド協会	(結成年) 1998年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0400-0473		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	主要構造材は、(柱、梁、桁、土台)の過半において、かごしま材を使用する。また羽柄材も過半は、かごしま材とする。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	1棟あたりの平均は28㎡であるその過半14㎡を基準とするが、実際は、構造計算で、出た構造上での集材材の割合は、ほぼ、100%近くはかごしま材である。	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	品質の明確な県産材を現し材として、温もりを感じる家とする。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木は、各森林組合が、管理し各製材所へと流が、確定している。	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	流通2社は、市場機能があり地域材の在庫量や価格情報が、把握できる。	
	②グループ全体における地域材の需給予測		
c	①-1 畳の活用	特になし	
	①-2 和瓦の活用	地元和瓦の活用も検討する。	○
	①-3 襖の活用	特になし	
	①-4 障子の活用	特になし	
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	特になし	
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	南国独特の民家などのデザインを受け継ぐ設計を検討していく。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組		
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	地区計画など地域の街並に合わせたづくり。緑地化にも貢献する。	○
	④和の住まいの要素を取入れた取組		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			
その他			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組	協力要請があれば、組合員が協力して積極的に要請に取り組む。	◎
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			
認定低炭素住宅	・未経験の構成員が多いので取組安い仕様とし計画を作成。・経験のある構成員より技術提供を行い取組を行う。		
ゼロ・エネルギー住宅	・未経験の構成員が多いため取組安い仕様とし計画を作成。・エネルギー削減率は、114.8%、省エネ等級4相当		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。